

## 岐阜県庁舎の現状と課題



平成26年12月1日

岐阜県

# 1 これまでの検討経緯

## (1) 庁内研究組織の設置及び調査検討

### ① 県庁舎再整備研究会

- ・構成：総務部長、総務部次長、関係課長
- ・開催状況：平成26年7月、9月、10月(3回)
- ・内容：県庁舎の現状と課題  
県庁舎の役割及び備えるべき機能・構造

### ② 県庁舎再整備研究会調査班

- ・構成：関係課の実務担当者
- ・開催状況：12回
- ・内容：研究会における議事内容の事前調査

## (2) 他県調査

① 長崎県(現在県庁舎建替実施中)

② 兵庫県(阪神・淡路大震災の教訓を踏まえた災害対策本部機能)

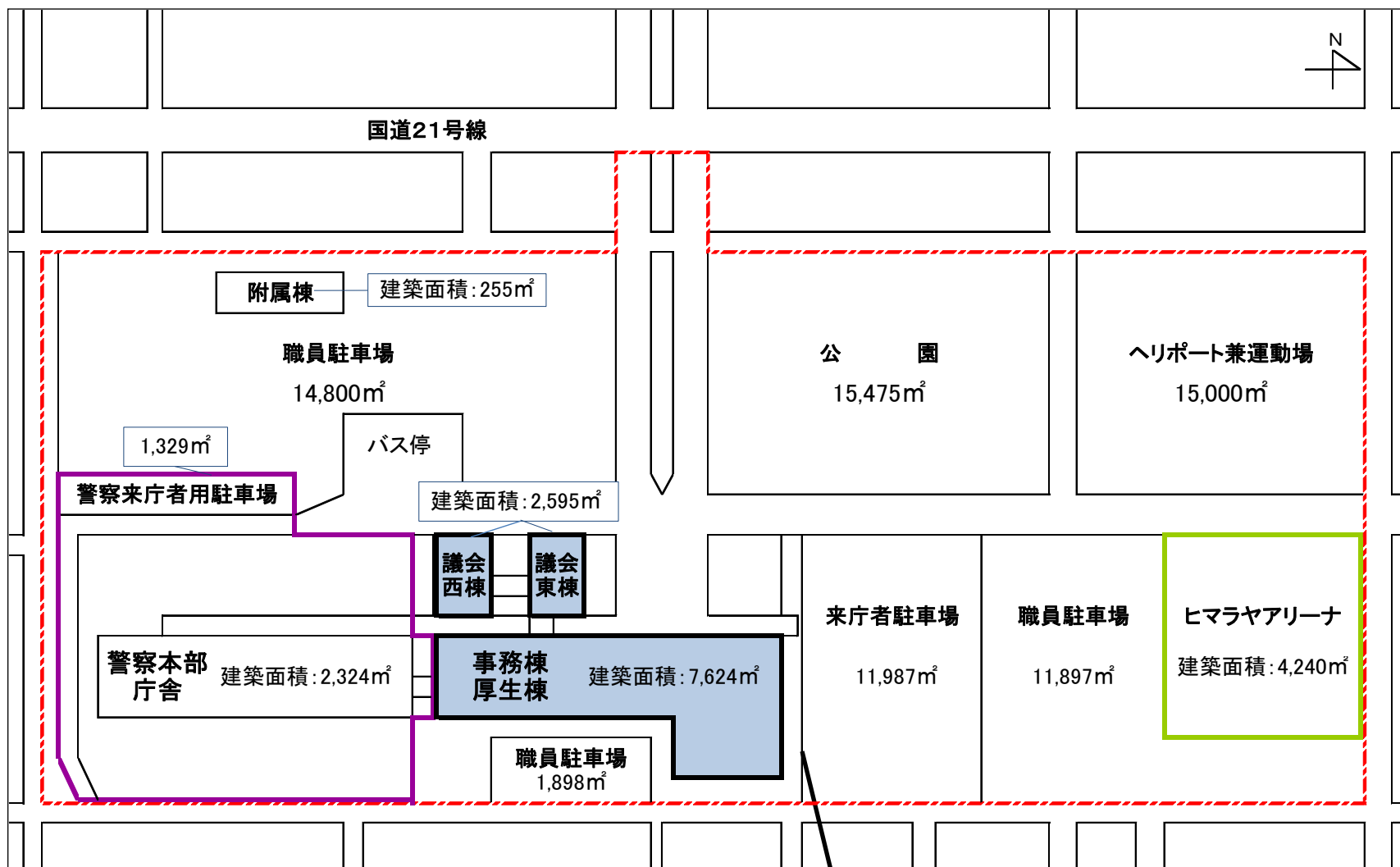
## 2 県庁舎の概要

○現在の県庁舎は、行政事務の増大による職員数の増加に伴い、岐阜市司町から移転したもので、昭和41年2月（議会西棟は昭和53年）に竣工し、今年で築後48年が経過

### 【県庁舎の概要】

- ・位 置 : 岐阜市藪田南2丁目1番1号
- ・敷地面積 : 158,561m<sup>2</sup>  
(警察庁舎、アリーナ除く敷地面積: 135,595m<sup>2</sup>)
- ・建築面積 : 10,219m<sup>2</sup>
- ・延床面積 : 52,568m<sup>2</sup>

# 県庁舎敷地内位置図



枠内面積: 158,561m<sup>2</sup>  
 (警察本部庁舎(18,726m<sup>2</sup>)とアリーナ(4,240m<sup>2</sup>)を除く敷地面積: 135, 595m<sup>2</sup>)

## 事務棟



- ・竣工年 : S41年
- ・構造 : 鉄骨鉄筋コンクリート造
- ・規模 : 地上12階・塔屋3階
- ・建築面積 : 7,624m<sup>2</sup>(厚生棟含む)
- ・延床面積 : 43,530m<sup>2</sup>(厚生棟含む)

## 厚生棟



- ・竣工年 : S41年
- ・構造 : 鉄筋コンクリート造
- ・規模 : 地上2階(一部3階)

## 議会東棟



- ・竣工年 : S41年
- ・構造 : 鉄筋コンクリート造
- ・規模 : 地上3階(一部4階)
- ・建築面積 : 1,623m<sup>2</sup>
- ・延床面積 : 5,609m<sup>2</sup>

## 議会西棟



- ・竣工年 : S53年
- ・構造 : 鉄筋コンクリート造
- ・規模 : 地上3階・搭屋2階
- ・建築面積 : 972m<sup>2</sup>
- ・延床面積 : 3,429m<sup>2</sup>

### 3 県庁舎の役割及び備えるべき機能・構造

#### (1) 県庁舎の役割

役 割	備えるべき機能・構造
県政の拠点	<ul style="list-style-type: none"><li>① 働きやすい執務環境</li><li>② 経済性の確保</li><li>③ 環境への配慮</li><li>④ セキュリティの確保</li></ul>
危機管理の拠点	<ul style="list-style-type: none"><li>⑤ 耐震性、安全性の確保</li><li>⑥ 災害対策拠点としての機能</li></ul>
県民交流の拠点	<ul style="list-style-type: none"><li>⑦ ユニバーサルデザイン</li><li>⑧ 親しみやすい空間</li></ul>

## (2) 県庁舎に備えるべき機能・構造

### ①働きやすい執務環境

#### 現状と課題

- ・建物、設備機器の老朽化・陳腐化のため、室内環境が悪化  
(→9～11頁 老朽化の現状)
- ・行政事務の増大や多様化により、必要なスペースが不十分  
(→12頁 狭隘化の現状)



## ◆老朽化の現状

### ア 建物

- ・外部では、屋上防水の劣化や外壁のタイルの浮き・ひび割れ・剥離が発生
- ・内部では、天井の仕上げ材の脱落や、床の仕上げ材の剥離等各所で不具合が発生



屋上防水の劣化



壁のひび割れ



天井の仕上げ材の脱落

## イ 設備機器

- ・多くの設備機器や配線・配管類が既に更新時期
- ・配線や配管類の設置スペースに余裕がないため、今後の更新は、外部への露出施工が必要
- ・エリアごとの適切な温度管理が困難、エネルギー効率等が低い

- ・建物、設備機器の維持修繕費、水道光熱費はそれぞれ年間概ね1億円【過去3年間平均】→老朽化の進行に伴い、今後増大(維持修繕費は年間2億円程度を見込む)



密集した  
給排水管



冷却水ポンプ

## 他県等の例



空調・熱源・衛生監視盤



中央管理室【栃木県】

## ◆狭隘化の現状

- ・執務室が手狭で、打合せや作業スペースが不足。倉庫、書庫が手狭
- ・会議室が不足。県民相談スペースも不足
- ・個人情報扱う業務や各種調査・審査のための作業用スペースが不足

### 【他県の庁舎等との比較】

- ・現庁舎(事務棟)の職員一人あたり面積(22.83㎡)が、最近県庁舎を建替えた4県(栃木、石川、群馬、茨城)の平均(37.92㎡)の6割程度
- ・国の算定基準に基づく標準的な床面積と比べても、大きく下回る。



執務室

### 他県等の例



執務室  
【石川県】

## (参考)最近建替えを行った県の状況(事務棟、議会庁舎)

区分	長崎県※1	栃木県	石川県	群馬県	茨城県	岐阜県
竣工年月	H26年発注	H19. 12	H14. 11	H11. 7	H11. 3	S41. 2 (議会西棟はS53)
建替施設	事務棟 地上8階 議会棟 地上5階	事務棟 本館: 地上15階、地下2階 東館: 地上5階、地下2階 議会棟 地上6階、地下1階	事務棟 地上19階、地下2階 議会棟 地上4階、地下1階	事務棟 地上33階、地下3階 議会棟 地上6階、地下2階	事務棟 地上25階、地下2階 議会棟 地上5階	事務棟(厚生棟含む) 地上12階 議会棟 東棟: 地上3階 西棟: 地上3階
延床面積 (事務棟・議会庁舎)	53, 264㎡ (46,565+6,699㎡)	77, 877㎡ (65,650+12,227㎡)	81, 429㎡ (68,975+12,454㎡)	103, 862㎡ (83,503+20,359㎡)	97, 625㎡ (81,394+16,231㎡)	52, 568㎡ (43,530+9,038㎡)
事務棟 職員数※2		1, 702人	1, 717人	2, 223人	2, 256人	1, 907人
事務棟 ㎡/1人		38. 57㎡	40. 17㎡	37. 56㎡	36. 08㎡	22. 83㎡
事務棟・議会 庁舎整備費※3 ※4	300億円	523億円	432億円	532億円	632億円	

※1:長崎県は建替中につき、事務棟と議会棟の面積は実施設計後のもの

※2:職員数は、平成26年4月1日現在勤務する職員の数に記載

※3:事務棟・議会庁舎整備費には、解体費や外構工事等を含む。

※4:長崎県、石川県、茨城県の事務棟・議会庁舎整備費は延床面積をもとに全体整備費を按分したもの

## ②経済性の確保

### 現状と課題

- ・築48年を迎え、老朽化の進行により、建物及び設備の維持修繕コストが増大
- ・組織改正に伴う間仕切り変更の工事などに、多額の経費や大きな労力が必要
- ・執務室天井裏の配線が複雑であるため、新規の配線接続時に、大きな労力が必要

### 他県等の例



開放的な  
オープン  
フロア  
【栃木県】



OAフロア(コン  
セント、電話、L  
AN配線等の位  
置換えが容易)  
【石川県】

### ③環境への配慮

#### 現状と課題

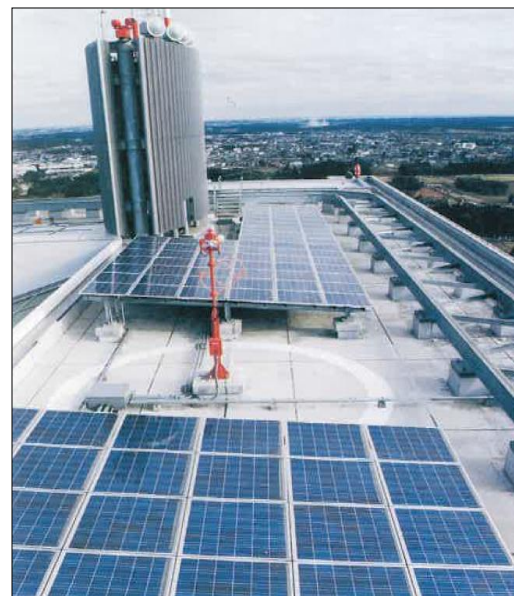
- ・ISO14001認証の取得、冷暖房温度管理の徹底、室内照明の消・減灯、階段使用、クールビズ・ウォームビズ、定時退庁等の推進
- ・スペースの不足、耐震性の低下などから、再生可能エネルギー未導入

#### 他県の例



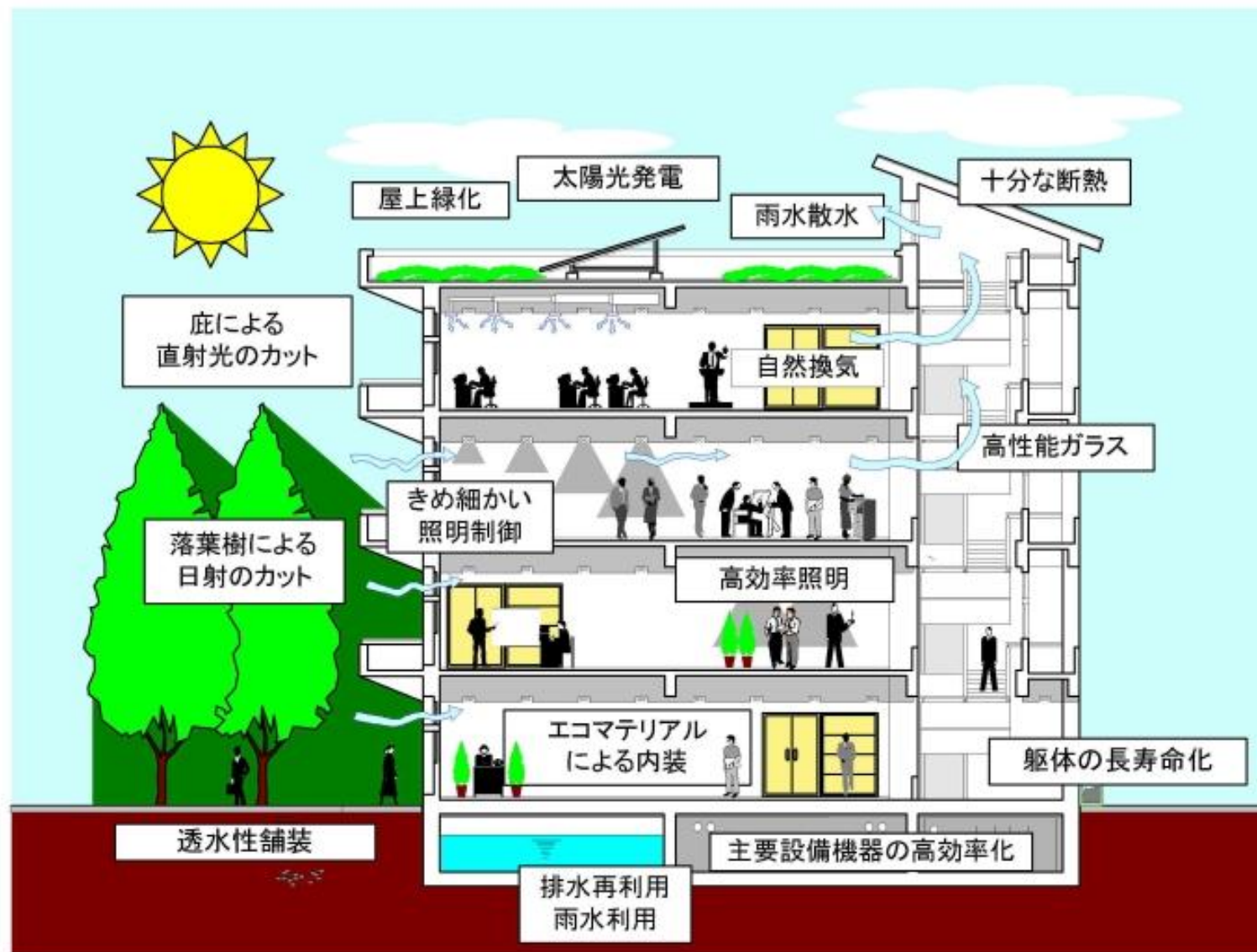
照度センサー

照明制御システム(自動的に調光制御し、不要な明るさをカット)【石川県】



屋上を活用したソーラーパネル【茨城県】

(参考)グリーン庁舎のイメージ(国土交通省のホームページから)





## ④セキュリティの確保

### 現状と課題

- ・来庁者が自由に出入りできる執務環境のため、離席の際は、パソコン画面のロックや書類の片づけを実施
- ・個人情報等の保護など、セキュリティが確保された施設とすることが必要

### 他県等の例



鍵管理防犯システム  
(各階に分散配置した鍵管理ボックス、磁気カードにより、入退室管理、侵入監視)【茨城県】

## ⑤耐震性、安全性の確保

### 現状と課題

- ・現庁舎は大規模地震後、建物自体の損傷や設備機器類の破損などにより、災害対策の中核拠点としての役割が果たせない恐れ
- ・吹き付けアスベストが使用されている箇所があり、大規模地震発生による天井崩落により飛散する恐れ



ダクト(送風管)を  
覆うアスベスト

## ⑥災害対策拠点としての機能

### 現状と課題

- ・常設の災害対策本部スペース(災害対策本部員会議、本部連絡員室、外部機関要員室、情報集約センター)を、知事室や危機管理部執務室と同じ4階フロアに設置し、迅速な対応に配慮
- ・災害対策要員用の仮眠室、備蓄スペースが不足

### 他県等の例

(室内)

岐阜県警仮眠室  
男性用5室  
シャワー室、トイレ  
も併設



屋上ヘリポート【栃木県】

## ⑦ユニバーサルデザイン

### 現状と課題

- ・庁舎内バリアフリー化を推進しているが、議会棟にはエレベータが未設置
- ・車いす利用者にとってエレベーターが狭く、専用トイレは数も少なく不便

### 他県等の例



車いす  
対応トイレ



車いす対応  
トイレ  
【石川県】



議会傍聴席  
(身体障がい  
者用スペース)



議会傍聴席  
【茨城県】

## ⑧親しみやすい空間

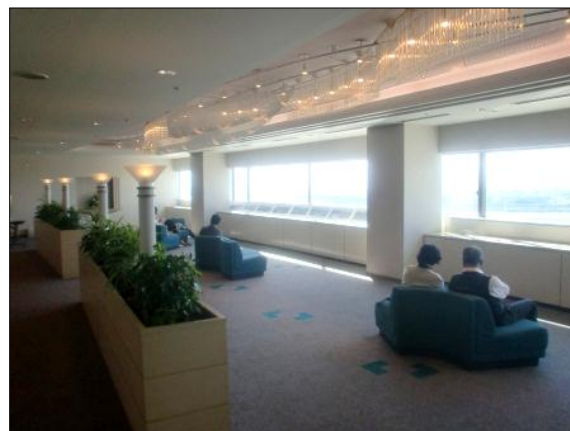
### 現状と課題

- ・狭隘化に伴い、展望スペースや2階ロビーの県産品等の展示コーナーを廃止
- ・県庁舎に近接するふれあい福寿会館の県民交流機能を踏まえた検討が必要

### ふれあい福寿会館内



屋内イベント広場



展望ラウンジ



展望レストラン

## 他県等の例



県民ホール【群馬県】



ビジターセンター【群馬県】



伝統工芸展示【栃木県】



展望ロビー【栃木県】



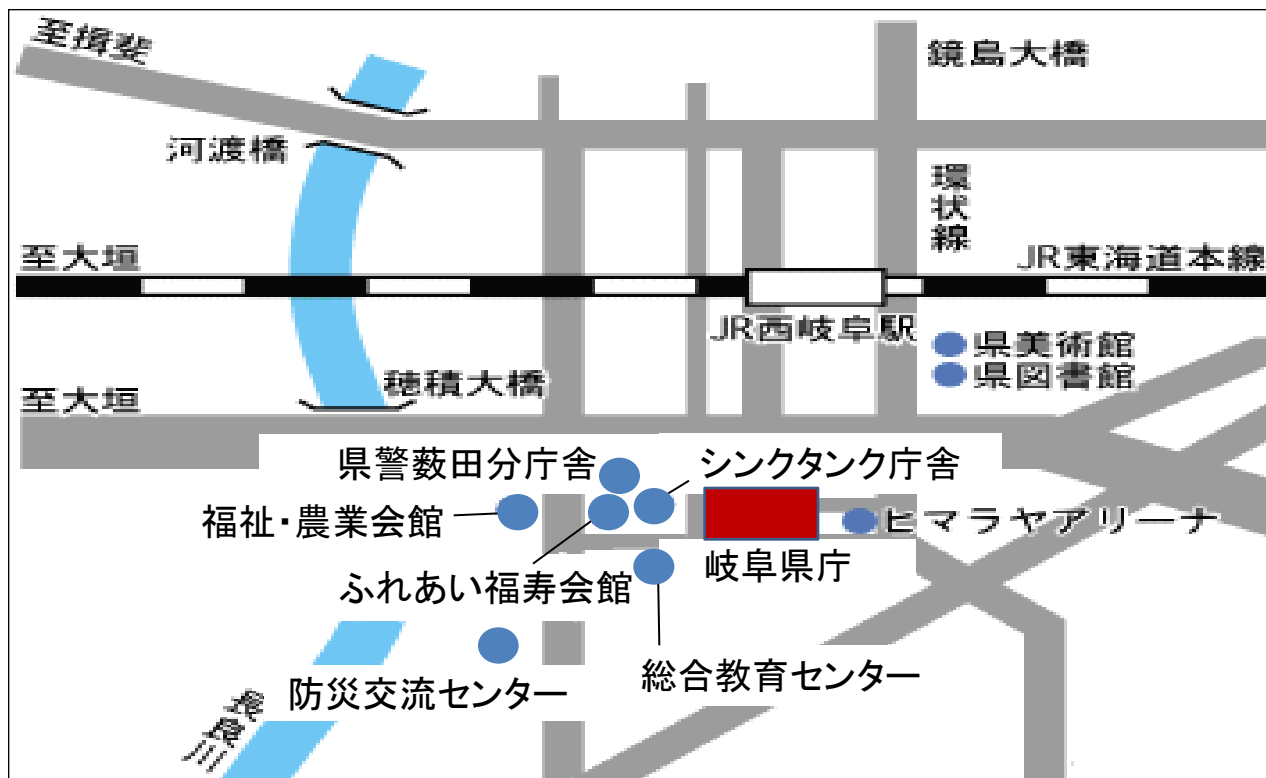
県民情報コーナー【石川県】



行政情報センター【茨城県】

## 4 県庁舎周辺県有施設の現状

- 県庁舎周辺には、シンクタンク庁舎、総合教育センター、ふれあい福寿会館、福祉・農業会館、防災交流センター、県警藪田分庁舎などの施設が立地
- 築後年数の経過や、ふれあい福寿会館には岐阜総合庁舎廃止（H25.3）により多数の現地機関が入居していることなど、県庁舎再整備に合わせて整理が必要



## シンクタンク庁舎



### <概要>

- ・敷地面積：8,869m<sup>2</sup>
- ・建築面積：1,190m<sup>2</sup>
- ・延床面積：6,015m<sup>2</sup>
- ・竣工年：S49年
- ・規模：地上5階
- ・特記事項：県関係団体(機関)39団体が入居、一部県の会議室として使用

## 総合教育センター



### <概要>

- ・敷地面積：8,280m<sup>2</sup>
- ・建築面積：2,304m<sup>2</sup>
- ・延床面積：7,285m<sup>2</sup>
- ・竣工年、規模：S44～51年、地上4階
- ・特記事項：研修施設、会議室の他、県機関が入居



## ふれあい福寿会館



### <概要>

- ・敷地面積 : 21,356㎡
- ・建築面積 : 7,866㎡
- ・延床面積 : 40,783㎡
- ・竣工年 : H5年
- ・規模 : 第1棟 地上14階、第2棟 地上9階
- ・特記事項 :
  - ①旧岐阜総合庁舎閉庁に伴い、5県機関が移転
  - ②県関係団体36団体及び上記以外の県機関（旅券センター他）が入居
  - ③ホール、貸会議室、展望スペース、レストランなどがあり、県民交流の場

## 福祉・農業会館



### <概要>

- ・敷地面積 : 10,315㎡
- ・建築面積 : 1,947㎡
- ・延床面積 : 10,132㎡
- ・竣工年 : S55年
- ・規模 : 地上7階
- ・特記事項 : 県関係団体(機関)29団体が入居

## 防災交流センター



### <概要>

- ・敷地面積 : 3,332m<sup>2</sup>
- ・建築面積 : 1,408m<sup>2</sup>
- ・延床面積 : 4,050m<sup>2</sup>
- ・竣工年 : H11年
- ・規模 : 地上3階
- ・特記事項 : 大規模地震等で県庁舎が被災した場合のバックアップ施設

## 県警薮田分庁舎



### <概要>

- ・敷地面積 : 8,264m<sup>2</sup>
- ・建築面積 : 517m<sup>2</sup>(国有財産分除く。)
- ・延床面積 : 1,517m<sup>2</sup>(国有財産分除く。)
- ・竣工年 : 分庁舎1はS47年、分庁舎2はS55年
- ・規模 : 地上3階
- ・特記事項 : 警察機関が入居